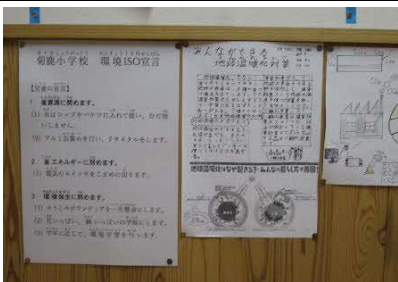

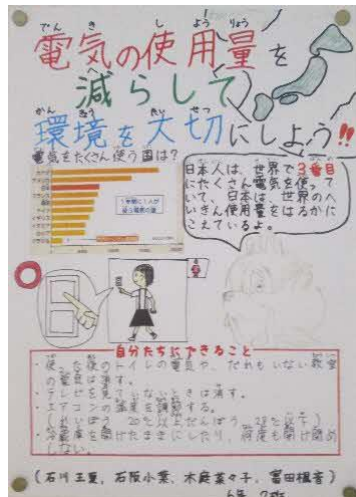



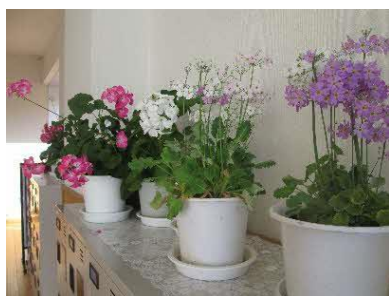
令和2年度（2020年度）学校版環境ISOへの取組

< 山鹿市立菊鹿小学校 >

1 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言		菊鹿小学校は、今年度、学校が統合し5年目を迎えている。本年度はコロナウイルス感染症のため、手洗いを頻繁にしたり、換気をしながら冷暖房をつけたりすることも多かった。その中で、昨年度の宣言を引き継ぎ、児童の身の回りに目をむけながら、身近なところから始めることとした。
行動	  	<p>1 新しい取組</p> <p>【6年生から全校への呼びかけ】</p> <p>国語の学習で「提案文書を書こう」の学習をし、「今、自分たちにできること」というテーマの元に、8つのグループに分かれて文書を作成した。その後、総合の時間を利用し実際の活動に移っていった。その内容を紹介すると、次のようになる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1班 節水して、環境を大切にする学校 2班 みんなができる地球温暖化対策 3班 食べ残しを減らして、食料を大切にする学校 4班 水をむだにしない菊鹿小学校 5班 水と地球の未来のために 6班 ゴミを減らして生活に生かそう 7班 エネルギーの資料量を減らして、環境を大切にする学校へ 8班 地球に優しい電気の節約 <p>各班ポスターやちらし等で全クラスに呼びかけると共にキャンペーンを行った。キャンペーンの内容の一部は、次のようなものだった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣見直しキャンペーン ・食べ残し0キャンペーン ・クラスの節水名人を見つけようキャンペーン ・コンセントを抜こうキャンペーン <p>※がんばった児童には、6年生からプレゼントもあった。</p> <p>2 昨年からの継続した取組</p> <p>(1) ボランティア活動</p> <p>今年度も、月・木曜日の朝10分間学校全体でボランティア活動に取り組んでいる。各教室や廊下、靴箱や学級園など児童自ら掃除場所を見つけ進んで掃除を行っている。</p>

行動



行動

(2) 環境委員会を中心にした全校での取組

① そうじコンクール

自分たちの掃除を見直す機会として、「そうじコンクール」を行った。環境委員会がそれぞれ分担して各掃除場所のチェックを行い、その結果を昼の放送で報告した。例年縦割り班での掃除を行うが、本年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、クラス単位の掃除を行っている。その中で、意識した取組ができた。

② アルミ缶集め【週に1回に】

前年度までは、月に2回のアルミ缶集めを行っていたが、環境委員会の話し合いにより、本年度は毎週水曜に、環境委員会を中心にアルミ缶回収“アルミ缶ウエズデー”を行うこととした。前日に放送で知らせ、当日の朝、児童昇降口で回収した。楽しみながらリサイクルの意識を高めることができ、収益金で図書室にアルミ缶文庫コーナーを設け、リクエスト本を揃えていくことを計画している。

③ 節電・節水コンクール

水の無駄遣いをなくす意識を高めるために、

- ・水道から水を出すときはえんぴつ1本分の量で出す。
- ・昼休みには教室の電気を消す。使用していないときのトイレの電気は消す。

の呼びかけを行い、点検活動を行った。お昼の放送時に前日の様子を知らせることで、だんだんと節電や節水を心がけるようになってきた。

④ ゼラニウム・サクラソウで校内を花いっぱい

環境委員会ではゼラニウムを種から育てたり、昨年度のサクラソウのこぼれ種を栽培したりしながら、400鉢ほどの花を育て、廊下や、玄関などに飾り、一年中花いっぱいの学校にすることができた。

3 印刷用紙リサイクルの取組（職員室を中心に）

印刷する枚数により、プリンターか印刷機かを選ぶようにし、必要最小限の枚数を印刷するようにしている。ミスプリントの用紙は、サイズと種類別に分別して保管するようにし、職員配布用として使用している。ミスプリントの裏を利用することで、紙の使用量を減らしている。

		<p>4 P T A活動としての資源物回収</p> <p>菊鹿町全部の家庭に呼びかけて、保護者や児童で集めたビールびん、一升びん（茶・緑）、アルミ缶、新聞紙、雑誌、段ボールを小学校の駐車場で業者に渡した。たくさんの資源物を回収することができた。なお、資源物回収の収益金は、P T A活動や学校行事等で子どもたちのために活用させてもらっている。</p>
記録		<ul style="list-style-type: none"> ・毎週1回のアルミ缶回収に向けて前日には環境委員会の児童が呼びかけを行い、60kgを集めることができた。 ・年間を通して、花のある学校にすることができた。
見直し		<ul style="list-style-type: none"> ・6年生の児童自ら発信する取組は、子どもたちの意欲付けにつながった。反面、継続した取組とはなっていないので、環境委員会で引き継ぐなど工夫が必要であった。 ・昨年度の反省の元、今年度は、アルミ缶回収を月に2回から毎週1回に増やすことができた。次年度は、アルミ缶回収の意味などを紹介しながら回収量が増えるように取り組んでいきたい。

2 成果と課題

成 果	課 題
<p>○6年生の取組</p> <p>児童が呼びかけたり、キャンペーンを行ったりしたことで、より環境を考える機会となり、節電や節水、リサイクル等を行い、環境を大切にしようという意識付けになった。また、児童の家族への呼びかけもあり、取組の広がりも見られた。</p> <p>コンセントを抜こうキャンペーンでは、テレビやパソコンの電源等を担任が意識して抜くことにつながった。</p> <p>○ボランティア</p> <p>学校をきれいにしようとする児童の意欲を高めることができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・6年生の取組は、プレゼントがあったり名人を選んだりして児童にとって楽しく意欲のわくものであったが、一時的なものであったので、環境委員会等で引き継ぐなど持続化をはかる必要がある。 ・6年生や環境委員会が呼びかけや点検活動をしている時には、意識して取り組むことができるが、電気の消し忘れゼロまでには至っていない。環境委員会の取組を定期的に行うなど、児童が主体的に行動できるための工夫を考えていく必要がある。

<p>○環境委員会の取組</p> <p>本年度は昨年度の反省のもと、環境委員会でも節電・節水の取組を行うことができた。きちんとできるように、期間を2週間延長して呼びかけたことで、節電に関しては節電チェックの期間が終わっても、教室の電気を消すことが多くなった。</p> <p>環境委員会の話し合いの中で、月2回のアルミ缶回収を毎週行うことになり、60kgのアルミ缶を回収することができた。</p> <p>○印刷用紙リサイクルの取組</p> <p>2台のプリンターのうち1台は、常時裏紙を入れて使用するようになっているので、使い分けができています。児童の提案で、教室にも裏紙ボックスが設置された。</p> <p>○PTA・地域とともに</p> <p>資源物回収を行い、リサイクルへの意識付けができた。</p>	<ul style="list-style-type: none">・本年度はコロナウイルス感染症の影響で、換気をしながら冷暖房をつけたり、手洗いを頻繁に行ったりする必要性があり、目に見える節水・節電にはなっていない。・例年地域の花植えや清掃活動に児童も参加していたが、本年度はコロナウイルス感染症の影響で、取りやめた地区が多かった。コロナウイルス感染症がおさまったときに、児童が地域の人たちとともに活動できるようにしていく必要がある。
--	---